

大学院「課題研究」（リサーチ・ペーパー）評価基準

1. 専門分野の基礎的な知識の修得

スコア	評価基準
20	対象となる分野のトピックにおいて基礎的な概念また発展的な概念を一貫して用いている。
17	対象となる分野のトピックにおいて基礎的な概念またやや発展的な概念を頻繁に用いている。
14	対象となる分野のトピックにおいて基礎的な概念をある程度用いている。
11	対象となる分野のトピックにおいて基礎的な概念を用いていない。

2. 当該分野の研究資料にアクセスし、情報を統合して、現状における知識を俯瞰する能力。当該分野の刊行論文の意味・価値・貢献を批判的に評価することができる。

スコア	評価基準
20	当該分野の現状における研究資料を理解し、的確に用いることができる。
17	当該分野の現状における研究資料を理解し、関連付けることができる。
14	当該分野の現状における研究資料を見出すことができる。
11	当該分野の現状における研究資料にアクセスできていない。

3. 着想のオリジナリティ

スコア	評価基準
10	研究の問題意識や目的は、独創的または創造的である。研究計画や手法は、適切であり革新的である。
9	(研究は最低限度の独創性や創造性を備えているが、卓越したレベルではない。)
7	研究の問題意識や目的は、最低限の独創性また創造性を備えている。研究計画や手法について、最低限度の適切さや革新性を備えている。
6	研究の問題意識や目的は、独創性や創造性を欠いている。先行研究の複製にすぎない。

4. データ(資料)を適切に収集し分析する能力

スコア	評価基準
20	データの解釈は適切であり、正しい手法を独創的に用いている。解釈は、研究目的に対して的確である。
17	データの解釈は適切であり、多くの正しい手法を用いている。解釈は、研究目的に対して概ね的確である。
14	データの解釈は適切であり、いくつかの正しい手法を用いている。解釈は、研究目的に対して的確ではない。
11	データの解釈は適切であるか、誤った手法を用いている。また解釈は、研究目的に対して的確ではない。

5. 論理性・科学性

スコア	評価基準
20	議論は優れており、正確で、魅力的である。結論・先行研究の要約は、研究結果に基づいた明らかな内容であり、適切である。
17	議論は十分であり、ほとんど過ちがない。過去の研究に基づいた、より強固な基盤が必要である。結論・先行研究の要約は、研究結果に基づいた内容であり、適切である。
14	大事な議論が抜け落ちているか、正確ではない。考慮すべき関連事項の議論が抜け落ちている。結論・先行研究の要約は、完全には研究結果に基づいていない。
11	この研究から得られた結果について、ほとんど論じられていない。本質的ではない議論が提示されている。結論・先行研究の要約は、研究結果に基づいた内容ではない。

6. 言語と形式

スコア	評価基準
10	文章・構成は整っており、単語のスペルや文法上の誤りが存在しない。明確で説得力のある議論がなされている。結果の提示の仕方が洗練されている。
9	(言語・形式において最低限の基準を満たしているが、卓越したレベルではない。)
7	文章や構成は概ね明確であり、単語のスペルや文法で大きな過ちがない。議論は明確である。結果の提示の仕方は大学院レベルである。文章の記述において、いくつかの間違ひがある。
6	文章や構成がわかりにくく、単語のスペルや文法で間違いが目立つ。議論に説得力がない。文章の記述において、重大な間違ひがある。

☆修士論文の可否の評定規準は、70点以上を合格、69点以下を不合格とする。